2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年７月31日

上 場 会 社 名　　モリ工業株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　5464　　URL　https://www.mory.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　森　　宏明
問合せ先責任者　（役職名）　常務執行役員管理部長　（氏名）　河野　博光　　TEL　06(6635)0201

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期第１四半期	11,155	1.7	1,288	19.1	1,439	15.7	952	10.6
2026年３月期第１四半期	10,966	△4.2	1,082	△23.3	1,245	△20.5	860	△20.8

（注）包括利益　2027年３月期第１四半期　1,175百万円（　38.4%）2026年３月期第１四半期　849百万円（△32.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	25.07	―
2026年３月期第１四半期	22.67	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期第１四半期	73,584	58,971	80.1	1,551.00
2026年３月期	72,659	58,554	80.5	1,540.24

（参考）自己資本　2027年３月期第１四半期　58,909百万円　　2026年３月期　58,492百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	16.00	―	20.00	36.00
2027年３月期	―				
2027年３月期(予想)		16.00	―	18.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	21,600	△0.1	2,100	1.6	2,300	0.0	1,600	0.6	42.12
通期	44,300	2.3	4,100	△6.4	4,600	△5.7	3,200	△4.7	84.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Ｑ	38,831,900株	2026年３月期	38,831,900株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Ｑ	850,435株	2026年３月期	855,665株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Ｑ	37,977,542株	2026年３月期１Ｑ	37,967,382株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　当社は役員報酬ＢＩＰ信託を導入しております。信託が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3

２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

〈参考資料〉 ……10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の上昇や供給網への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属するステンレス業界におきましては、原料価格の高止まりや円安、エネルギーコストの上昇を背景に製品価格の改定が進みました。加えて、中国・台湾産のニッケル系ステンレス冷延鋼板に対する暫定の不当廉売関税の適用決定により、市場環境の改善が期待される一方、ニッケル価格は下落基調で推移しており、今後の需給動向及び原材料価格の推移を注視してまいります。

このような状況下におきまして、当社グループの当第１四半期連結累計期間における売上高は111億55百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。前年同四半期に比べ販売価格の上昇により、売上高は増加しております。また収益面におきましては、販売価格と材料価格の値差が微増しているため、営業利益は12億88百万円（前年同四半期比19.1%増）、経常利益は14億39百万円（前年同四半期比15.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、９億52百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

（日本）

日本事業の売上高は106億89百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント営業利益は12億79百万円（前年同四半期比17.8%増）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、前年同四半期と比べて配管用と自動車用は販売数量は減少しましたが、製品価格が上昇したため、売上高はほぼ横ばいの62億18百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

ステンレス条鋼部門は、前年同四半期と比べて販売数量が増加したことにより、売上高は25億75百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

ステンレス加工品部門は、給湯器用フレキ管の販売が振るわず、売上高は２億33百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

鋼管部門は、前年同四半期と比べて建設仮設材用の販売数量が大幅に増加したため、売上高は14億34百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

機械部門は、前年同四半期に比べ取引先の設備投資意欲が回復傾向にあり、売上高は２億27百万円（前年同四半期比25.9%増）となりました。

（インドネシア）

インドネシア事業においては、二輪完成車の販売市況が前年並みに堅調に推移するとともに、四輪完成車の販売数量も増加し、回復傾向が見られました。二輪用・四輪用製品ともに販売数量が増加した結果、売上高は４億65百万円（前年同四半期比12.7%増）となり、セグメント営業利益は８百万円（前年同四半期は４百万円の損失）となりました。

（セグメント・製品部門別売上高比較表）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）		当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）		前連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）	
区分	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日本						
ステンレス管	6,230	56.8	6,218	55.7	24,521	56.7
ステンレス条鋼	2,481	22.6	2,575	23.1	9,829	22.7
ステンレス加工品	270	2.5	233	2.1	963	2.2
鋼管	1,390	12.7	1,434	12.9	5,508	12.7
機械	180	1.6	227	2.0	661	1.5
インドネシア	413	3.8	465	4.2	1,804	4.2
合計	10,966	100.0	11,155	100.0	43,288	100.0

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当社グループの当第１四半期連結会計期間末の総資産は735億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて９億25百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少23億４百万円、電子記録債権の増加３億27百万円、有価証券の増加22億94百万円、投資有価証券の増加３億64百万円などであります。負債は146億13百万円となり、前連結会計年度末に比べて５億９百万円増加いたしました。負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加３億46百万円、未払法人税等の減少３億65百万円、流動負債（その他）の増加４億28百万円などであります。

当第１四半期連結会計期間末の純資産は589億71百万円となり、前連結会計年度末に比べて４億17百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が１億89百万円増加したことに加え、その他の包括利益累計額が２億22百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.4ポイント低下し、80.1%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、2026年５月８日の決算短信で公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,926	13,622
受取手形及び売掛金	7,562	7,570
電子記録債権	6,132	6,459
有価証券	199	2,493
棚卸資産	11,496	11,612
その他	187	200
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	41,490	41,944
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,101	8,113
その他（純額）	9,289	9,381
有形固定資産合計	17,390	17,494
無形固定資産		
その他	141	145
無形固定資産合計	141	145
投資その他の資産		
投資有価証券	9,028	9,392
その他	4,617	4,615
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	13,637	13,999
固定資産合計	31,169	31,639
資産合計	72,659	73,584
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,072	2,418
電子記録債務	4,572	4,701
短期借入金	670	661
未払法人税等	743	378
賞与引当金	409	176
その他	2,048	2,476
流動負債合計	10,516	10,811
固定負債		
長期借入金	1,300	1,300
役員株式報酬引当金	99	95
退職給付に係る負債	152	155
その他	2,035	2,250
固定負債合計	3,587	3,801
負債合計	14,104	14,613

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,149	7,149
利益剰余金	41,016	41,205
自己株式	△791	△786
株主資本合計	54,734	54,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,200	2,415
為替換算調整勘定	1,058	1,078
退職給付に係る調整累計額	498	486
その他の包括利益累計額合計	3,758	3,980
非支配株主持分	61	61
純資産合計	58,554	58,971
負債純資産合計	72,659	73,584

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
売上高	10,966	11,155
売上原価	8,356	8,326
売上総利益	2,609	2,828
販売費及び一般管理費	1,527	1,540
営業利益	1,082	1,288
営業外収益		
受取利息	10	23
受取配当金	100	83
持分法による投資利益	58	55
その他	17	24
営業外収益合計	186	187
営業外費用		
支払利息	6	8
為替差損	13	13
その他	3	15
営業外費用合計	23	36
経常利益	1,245	1,439
特別損失		
固定資産除却損	0	6
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	1,245	1,433
法人税、住民税及び事業税	264	359
法人税等調整額	120	122
法人税等合計	384	481
四半期純利益	860	951
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	860	952

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
四半期純利益	860	951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	214
為替換算調整勘定	△39	20
退職給付に係る調整額	△4	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	5	0
その他の包括利益合計	△11	223
四半期包括利益	849	1,175
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	851	1,175
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第１四半期連結累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期連結累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,553	413	10,966	―	10,966
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	10,553	413	10,966	―	10,966
セグメント利益又は損失（△）	1,086	△4	1,082	0	1,082

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去等であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,689	465	11,155	―	11,155
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	10,689	465	11,155	―	11,155
セグメント利益	1,279	8	1,288	0	1,288

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）
減価償却費	265百万円	316百万円

＜参考資料＞

2026年７月31日
モリ工業株式会社

2027年３月期 第１四半期 決算発表

１．要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前期末 2026．３．末	当四半期末 2026．６．末	増減		前期末 2026．３．末	当四半期末 2026．６．末	増減
流動資産	41,490	41,944	454	流動負債	10,516	10,811	295
現金及び預金	15,926	13,622	△2,304	支払手形及び買掛金	6,645	7,119	474
受取手形及び売掛金	13,695	14,030	335	短期借入金	670	661	△9
有価証券	199	2,493	2,294	未払法人税等	743	378	△365
棚卸資産	11,496	11,612	116	引当金	409	176	△233
その他	172	186	14	その他	2,048	2,476	428
固定資産	31,169	31,639	470	固定負債	3,587	3,801	214
有形固定資産	17,390	17,494	104	長期借入金	1,300	1,300	―
土地	8,101	8,113	12	役員株式報酬引当金	99	95	△4
その他	9,289	9,381	92	繰延税金負債	1,517	1,734	217
				その他	670	671	1
無形固定資産	141	145	4	負債合計	14,104	14,613	509
投資その他の資産	13,637	13,999	362	純資産	58,554	58,971	417
投資有価証券	9,028	9,392	364	株主資本	54,734	54,928	194
退職給付に係る資産	2,314	2,319	5	資本金・資本剰余金	14,509	14,509	―
その他	2,293	2,286	△7	利益剰余金	41,016	41,205	189
				自己株式	△791	△786	5
				その他の包括利益累計額	3,758	3,980	222
				非支配株主持分	61	61	0
資産合計	72,659	73,584	925	負債・純資産合計	72,659	73,584	925

２．棚卸資産回転月数(期末棚卸資産÷累計期間の月平均売上高)

（単位：月）

	前第１四半期	当第１四半期	増減
棚卸資産回転月数	3.31	3.12	△0.19

３．有形固定資産の増減内訳

（単位：百万円）

有形固定資産の増減		設備投資		減価償却		その他処分等		為替換算増減
104	＝	399	―	306	―	6	＋	17
日本 (56)		(340)		(278)		(6)		(―)
インドネシア (48)		(59)		(28)		(0)		(17)

４．実質有利子負債の比較

（単位：百万円）

	前期末 2026．３．末	当四半期末 2026．６．末	増減
有利子負債 ①	1,985	1,974	△11
現預金等換金性のもの ②	16,125	16,115	△10
実質有利子負債 ①－②	△14,140	△14,141	△1

５．要約連結損益計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期 2025．４-2025．６	百分比 ％	当第１四半期 2026．４-2026．６	百分比 ％	増減
売上高	10,966	100.0	11,155	100.0	189
売上原価	8,356	76.2	8,326	74.6	△30
売上総利益	2,609	23.8	2,828	25.4	219
販売費及び一般管理費	1,527	13.9	1,540	13.8	13
営業利益	1,082	9.9	1,288	11.6	206
営業外収益	186	1.7	187	1.7	1
受取利息	10		23		
受取配当金	100		83		
持分法投資利益	58		55		
その他	17		24		
営業外費用	23	0.2	36	0.3	13
支払利息	6		8		
為替差損	13		13		
その他	3		15		
経常利益	1,245	11.4	1,439	12.9	194
特別損失	0	0.0	6	0.1	6
固定資産除却損	0		6		
税引前四半期純利益	1,245	11.4	1,433	12.8	188
法人税等	384	3.5	481	4.3	97
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	0	0.0	△0	△0.0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	860	7.9	952	8.5	92

６．当第１四半期の経常利益増減要因(前第１四半期対比)

（単位：百万円）

増益要因	金額	減益要因	金額
１．変動費率の減少	255	１．生産金額（量・価格を含む）の減少	△32
２．その他	46	２．固定費の増加	△38
		３．受取配当金等の減少	△3
		４．棚卸評価差損益	△34
計	301	計	△107
		差引	194